

資料Ⅲ－3

供給者に対する意見照会結果

質問事項	割合(%)
●全分野共通	
政府調達に関する年度当初の提供情報の活用	
a 有益であり、積極的に活用している	54.5%
b 時々活用している	33.3%
c 活用していない	12.1%
個々の調達案件に関する情報提供方法の利便性等	
a 十分満足できる	24.2%
b ある程度満足できる	63.6%
c 不満足である	12.1%
「政府調達における我が国の施策と実績」について	
a 満足しており、活用している	15.0%
b ある程度満足している	75.0%
c 不満足	10.0%
調達実績一覧のホームページ掲載について	
a 満足しており、活用している	9.7%
b ある程度満足している	54.8%
c 不満足	3.2%
d 掲載されていることを知らなかった	32.3%
随意契約、指名競争の縮減による競争性、透明性の確保	
a 十分確保されている	21.2%
b ある程度確保されている	69.7%
c 確保されていない	9.1%
応札期間の延長について	
a 便益を受けている	61.3%
b 特に便益を受けていない	38.7%
資料提供招請・意見招請の基準額(80万SDR)	
a 適当である	84.4%
b 引下げが必要である	9.4%
c 引上げが必要である	6.3%
総合評価落札方式について	
a 適正な評価、競争性の確保に十分寄与している	17.2%
b " にある程度寄与している	72.4%
c " に寄与していない	10.3%
苦情処理制度活用の検討	
a 苦情処理制度の活用を検討したことがある	6.1%
b 苦情処理制度の活用を検討したことがない	81.8%
c 苦情処理制度について十分な知識を持ち合わせていない	12.1%

質問事項	割合(%)
●電気通信・医療技術分野共通	
資料提供招請・意見招請の基準額（38.5万SDR）	
a 適当である	88.2%
b 引下げが必要である	5.9%
c 引上げが必要である	5.9%
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法	
a 適当である	35.3%
b 概ね適当である	64.7%
c 適当でない	0.0%
総合評価落札方式の導入基準額（38.5万SDR）	
a 適当である	88.9%
b 引下げが必要である	5.6%
c 引上げが必要である	5.6%
技術仕様の公平性	
a 措置どおりに行われている	28.6%
b 概ね措置どおりに行われている	64.3%
c 措置どおりに行われていない	7.1%
●その他	
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法 (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	29.4%
b 概ね適当である	64.7%
c 適当でない	5.9%
総合評価落札方式の導入基準額（80万SDR） (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	83.3%
b 引下げが必要である	16.7%
c 引上げが必要である	0.0%
「情報システムに係る政府調達制度の見直しについて」及び「情報システムに係る政府調達の基本指針」による取組み	
a 適当である	21.1%
b 概ね適当である	57.9%
c 適当でない	21.1%

※クエスチョンアヘは計33者が回答。

※四捨五入により百分率の合計が100%にならない場合がある。

※設問に無回答の者は除いた。